

葛飾中川かわまちづくり

1, 「葛飾中川かわまちづくり」の登録

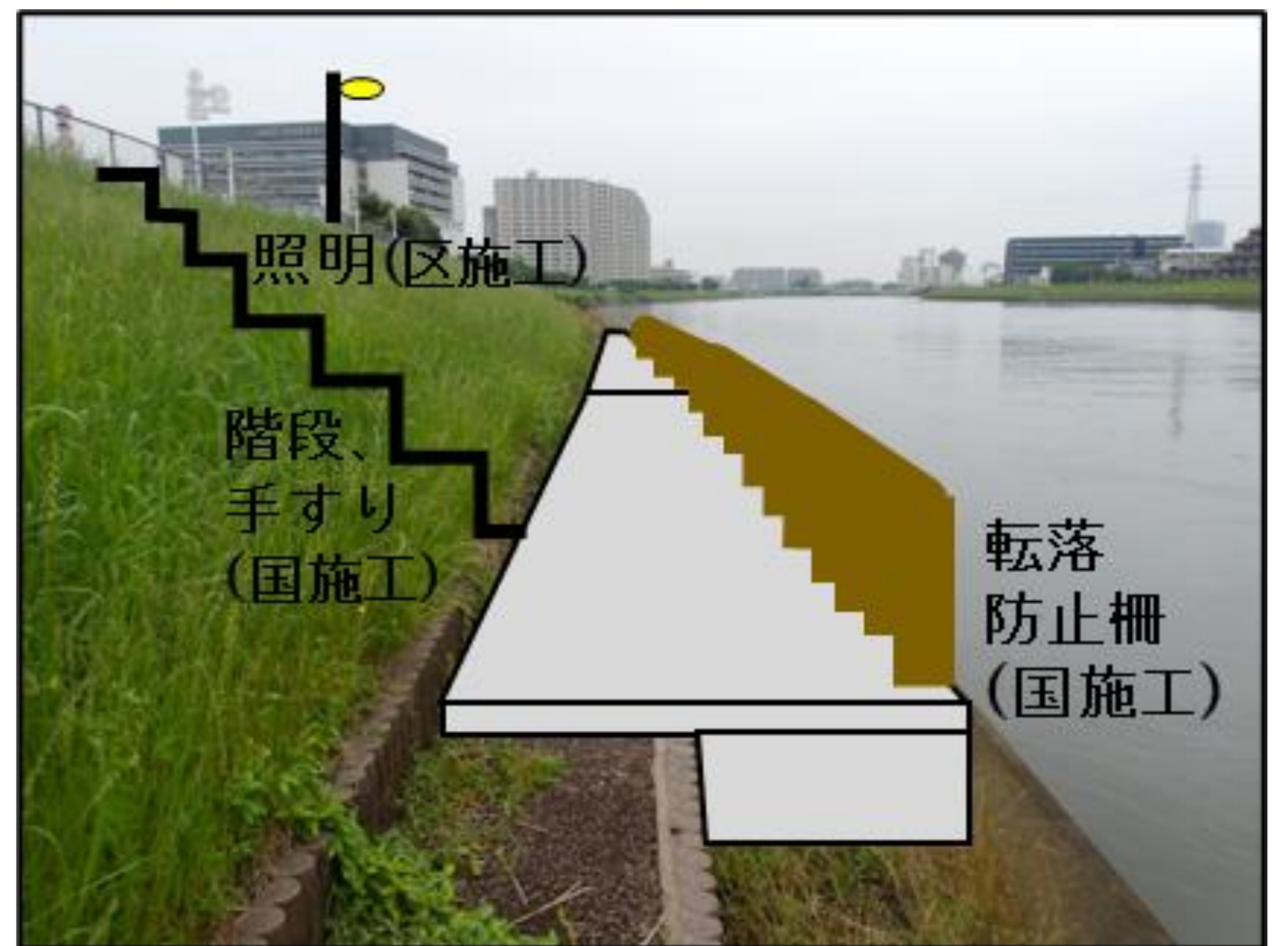
葛飾区は、江戸川、荒川・綾瀬川、大場川、中川、新中川が流れていることから、川を生かしたまちづくりに取り組んでおり、水辺に近寄れるテラス空間、高水敷の整備が進み、水辺の散策路ネットワークが完成しつつあります。

さらなる地域の賑わいを目指して、中川沿川地域の各団体で構成する「中川かわまちづくり協議会」と葛飾区の連名で、国土交通省の「かわまちづくり」支援制度を活用した、かわまちづくり計画の登録申請が行われ、令和5年8月10日付けで、「葛飾中川かわまちづくり」が登録されました。

2, 計画の概要

本計画では、観光・休憩・展望・飲食拠点となる見晴らしデッキの整備や管理用通路の連続的な整備を行うとともに、中川沿川の産官学連携イベント等による、まちと川が一体的となったまちづくりを図ります。

さらに、葛飾区が世界に誇るアニメキャラクター等を活かしたデザインの銅像や距離標等を設置することにより、地域住民の利活用の増進とともに国内外からも観光客が川を訪れ水辺を移動し、川の賑わい創出と回遊性の向上を図ります。



管理用通路整備イメージ

3, 「葛飾中川かわまちづくり」登録伝達式

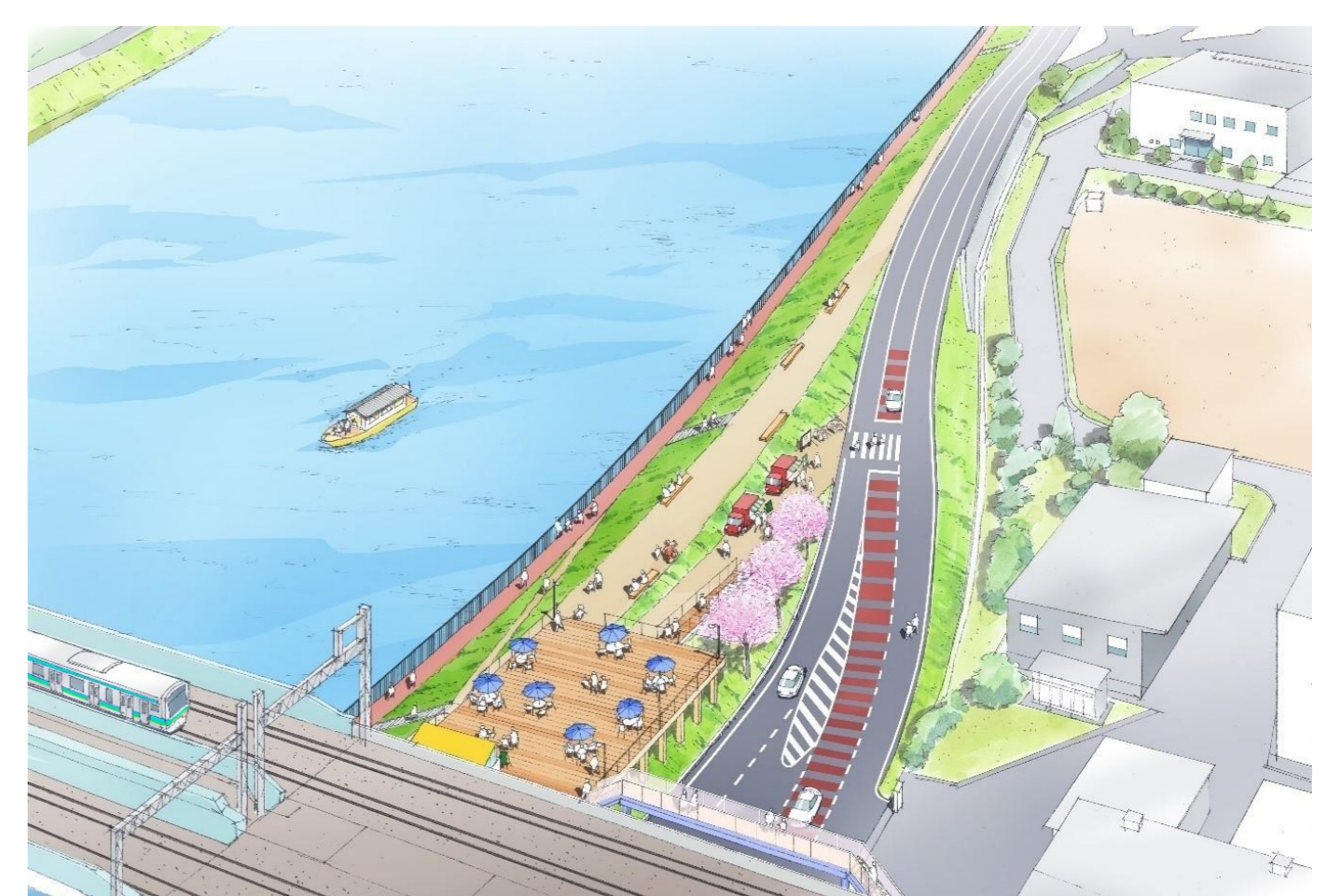
令和5年9月5日、葛飾区役所 区長応接室にて「葛飾中川かわまちづくり」登録伝達式が行われました。



左から青木克徳葛飾区長, 国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所 守安邦弘所長



散策路部イメージ



拠点整備箇所イメージ